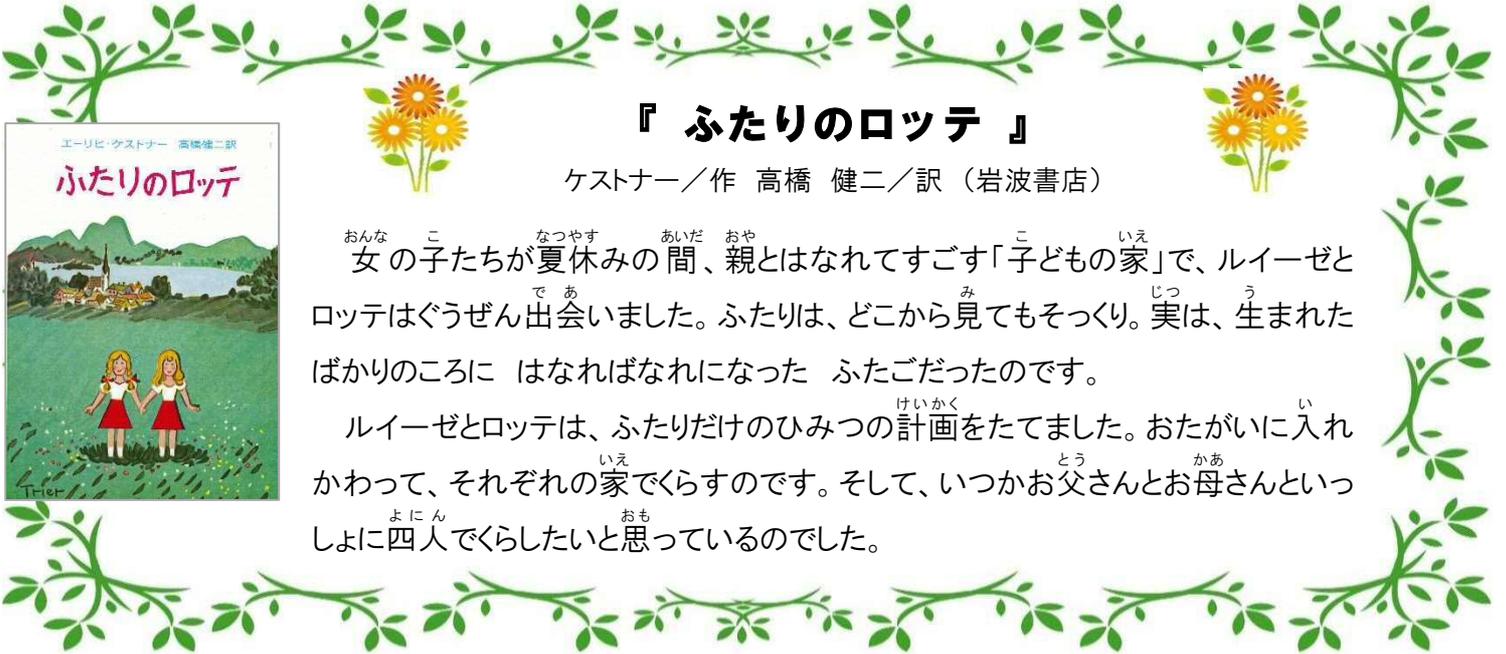




## いろいろな きょうだい



なかよしだったり、けんかしたり。弟<sup>おとうと</sup>や妹<sup>いもうと</sup>ができてうれしいけど、なんだかさみしい気持ちになったり。でも、きょうだいがいると楽しいね。いろいろなきょうだいのお話を<sup>はなし</sup>読んでみよう。



### 『ふたりのロツテ』

ケストナー／作 高橋 健二／訳 (岩波書店)

女の子<sup>おんな こ</sup>たちが夏<sup>なつ</sup>休み<sup>やす</sup>の間<sup>あいだ</sup>、親<sup>おや</sup>とはなれてすごす「子どもの家<sup>こ</sup>」で、ルーゼとロツテはぐうぜん<sup>いえ</sup>出会<sup>あ</sup>いました。ふたりは、どこから<sup>み</sup>見てもそっくり。実は、生まれ<sup>う</sup>たばかり<sup>ば</sup>のころに はなればなれ<sup>はなし</sup>になった ふたご<sup>ふたご</sup>だったのです。

ルーゼとロツテは、ふたり<sup>ふたり</sup>だけのひみつ<sup>ひみつ</sup>の計画<sup>けいかく</sup>をたてました。おたがいに<sup>い</sup>入れかわって、それぞれ<sup>それぞれ</sup>の家<sup>いえ</sup>でくらすのです。そして、いつかお父<sup>とう</sup>さんとお母<sup>かあ</sup>さんといっしょ<sup>いっしょ</sup>に四人<sup>よにん</sup>でくらしたい<sup>おも</sup>と思っているのです。



### 『ふたごのカウボーイ』

フローレンス・スロボドキン／文 ルイス・スロボドキン／絵 小宮 由／訳 (瑞雲舎)

ふたごのネッドとドニーは、カウボーイ<sup>カウボーイ</sup>ごっこ<sup>ごっこ</sup>が大<sup>だい</sup>すき。今日<sup>きょう</sup>もカウボーイのステーキ<sup>ステーキ</sup>とジムになり<sup>なり</sup>きって、ぼうけん<sup>ぼうけん</sup>に出<sup>で</sup>かけました。ところが、まいご<sup>まいご</sup>になってしまったから、たいへんです。



### 『グリム童話 しらゆき べにばら』

グリム／原作 バーバラ・クーニー／絵 鈴木 晶／訳 (ほるぷ出版)

しらゆきとべにばらは、はたらき者<sup>もの</sup>の姉<sup>あね</sup>と妹<sup>いもうと</sup>でした。そして、ふたりはいつでもいっしょ<sup>いっしょ</sup>にいました。ある寒い<sup>さむい</sup>夜<sup>よる</sup>、大きな黒いクマ<sup>おお</sup>が家<sup>くろ</sup>に入<sup>い</sup>ってきました。毎日<sup>まいにち</sup>会ううちにふたりは、そのクマとなかよくなります。



おうちのひと<sup>ひと</sup>といっしょに  
本<sup>ほん</sup>をよもう!



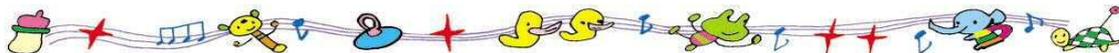
きょうだいっていいね!

# もっと読みたいな きょうだいのお話



『フランシスのいえで』  
ラッセル・ホーバン／作  
リリアン・ホーバン／絵  
まつおか きょうこ／訳  
(好学社)

妹が生まれてから、お母さんはフランシスのことをかまってくれません。そこでフランシスは食卓の下に“家出”しました。すると、「フランシスみたいなお姉さんがいて、赤ちゃんは運がいいな」と言っている、お父さんとお母さんの話声が聞こえてきました。



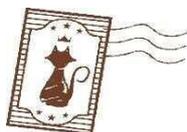
『すえっこメリーメリー』  
ジョーン・ロビンソン／作・絵  
松野 正子／訳  
(大日本図書)

メリーは五人きょうだいのすえっこの女の子。みんなからはメリーメリーとよばれています。母の日が近づくと、きょうだいたちはプレゼントを用意しますが、メリーメリーはお金が足りません。あきらめずに考えたびっくりプレゼントとは何だったのでしょ。



『若草物語 上・下』  
ルイザ・メイ・オルコット／作  
海都 洋子／訳  
(岩波書店)

美しいメグ、元気なジョー、内気なベス、おませなエイミーは、マーチ家の四姉妹。やさしいお母さんに見守られて、ぜいたくではないけれど楽しい毎日をすごしています。四人がそれぞれに自分らしくせい長していく様子をえがいた、世界中で読まれているお話です。



『中国の民話 王さまと九人のきょうだい』  
君島 久子／訳  
赤羽 末吉／絵  
(岩波書店)



『世界一の三人きょうだい』  
グールドン・メプス／作  
はたさわ ゆうこ／訳  
山西 ゲンイチ／絵  
(徳間書店)



〈こどもとしゃかんクイズ〉 ~ 『王さまと九人のきょうだい』を読んでクイズにちょうせんしよう~ 九人の兄弟には、それぞれのとく意なことにぴったりの名前がついています。

ちからもち くいしんぼう ぶつてくれ ながすね さむがりや あつがりや きつてくれ  
あとふたりの名前はなんでしょう。

答えがわかったら、近くの図書館のカウンターに来てね。当たったらプレゼントがもらえるよ。

5月12日(水曜)まで

